

小山市事務事業評価シート

令和元年度版

No. 32

1. 基本情報				
<1> 事業・業務名	農地耕作条件改善事業 小山地区		<2> 事業・業務の別	事業
<3> 選定基準	④ その他		<4> 継続評価・新規評価の別	継続評価
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	7 豊かな大地と伝統 めぐみをはぐくむまちづくり	<6> 担当部(局)	産業観光部
	中項目	7-1 田園環境の保全と農業の活性化	<7> 担当所属	農村整備課
	小項目	7-1-1 農業・都市と農村交流・グリーンツーリズム	<8> 担当係等	農道整備係
	施策	農業生産基盤の整備・農地の有効活用		
<9> 根拠法令・計画等	土地改良法	<10> 関連・類似事業		
<11> 会計	一般	会計	<12> 予算科目	6 款 1 項 6 目
<13> 実施期間	H28 年度 ~ R3 年度	<14> 全体事業費	323,400 千円	
<15> 実施手法	一部委託 「その他」の場合 ()			

2. Do - 実施 -

<16> 事業・業務の概要	農業の担い手への農地集積の加速化や農業の高付加価値化の推進等により、競争力ある「攻めの農業」を展開し、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整える。								
目的	<17> 事業・業務の目的	基盤整備を実施し耕作条件の改善を図ることにより、農地中間管理機構による担い手への農地の集積や集約化を推進するために実施する。							
	<18> 事業・業務の対象	農道に隣接したほ場を有する受益者(農業者)等							
手段	<19> 平成30年度の活動内容	総延長L=2,206m、幅員W=4.0mの農道2箇所を農林水産省農地耕作条件改善事業(国庫補助事業)により、舗装工事を実施した。また、新規整備3路線について、国庫補助導入に向けて土地改良法の手続きを実施した。							
	<20> 活動指標 (活動した量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
		舗装工事	m	0	0	2,206	2,206	100.0%	
土地改良法手続き	路線	0	0	3	3	100.0%			
成果	<21> 事業・業務の成果	農業通作、流通体系の改善及び生産物の集出荷、生産資材の搬出搬入を円滑化するために、農道を舗装することで、農業経営の合理化を目指す。							
	<22> 成果指標 (活動の成果の量や実績)	指標名	単位	平成29年度		平成30年度			
				計画	実績	計画	実績	達成率(%)	
舗装完了路線数	路線	0	0	3	3	100.0%			
資源	<23> 投入指標 (投入するお金の量)	コスト実績	単位	平成29年度		平成30年度		投入率(%)	
			千円	計画	実績	計画	実績		
		事業費等	千円	49,959	49,959	59,344	59,344	100.0%	
		財源内訳	国・県補助金	千円	31,070	31,070	37,180	37,180	100.0%
			地方債	千円	12,500	12,500	12,300	12,300	100.0%
			その他	千円					
		一般財源	千円	4,230	4,230	7,720	7,720	100.0%	
		人件費	千円	2,159	2,159	2,144	2,144	100.0%	
正職員	千円 × 人役	7,195 × 0.3	7,195 × 0.3	7,146 × 0.3	7,146 × 0.3				
他の職員	千円 × 人役	×	×	×	×				

3. Check - 評価 -			
実績評価	妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1.妥当である
		<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	1.妥当である
		<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2.変わらずにある
	有効性	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	1.妥当である
		<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない
	効率性	<29> (総合計画基本計画)施策への貢献度は大きいか?	1.大きい
公平性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	2.向上の余地はない	
	<31> 民間への外部化(民営化・業務委託等)は可能か?	2.検討は困難である	
<32> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?		1.妥当である	
<33> 総合評価 (事業全体の改善の余地)		3.改善の余地はない	理由 本事業は、国の採択・実施要件を満たし、要綱・要領に基づいた国庫補助事業であるとともに、平成30年度は計画通りに事業が進み、新規路線についても、計画通り土地改良法の手続きが進んだことから改善の余地なしとした。

4. Action - 改善 -

事業の改善	<34> 事業の課題 事業の改善点 今後の方針	新規路線について、スムーズに事業着手できるよう、関係機関と連絡調整を密にするとともに、適正な工程管理を図る。		
	<35> 1次評価	所属長	3.現状維持	理由 平成30年度は事業着手路線の舗装工事が完成したことから、今後は、令和元年度の新規3路線へのスムーズな事業着手及び令和3年度の工事完成に向けて、効率的な事業進捗を図る。
	<36> 2次評価	所管部長	3.現状維持	理由 平成30年度に当初計画どおり舗装工事を完成させ、耕作条件の改善が図られたことから、新規路線についても、計画どおりに事業を進め、令和3年度の舗装工事完成を目指す。

5 Plan - 計画 -

事業の計画	<37> 実施計画	令和元年度から新規3路線に事業着手し、令和元年度は、路線測量・用地測量、令和2年度に用地買収を実施し、令和3年度に舗装工事を完了させる。また、3路線の完成までに、地元土地改良区等と調整を行い、次期整備路線の選定等を併せて行う。				
	<38> 活動・成果目標	令和3年度に農道3路線の舗装工事を完成させ、耕作条件の改善を図る。	<39> コスト計画	単位	令和元年度	令和2年度
				千円	計画	計画
			事業費等	千円	43,334	35,354
	人件費	千円	2,144	2,144		